

ヘンペルセーリングワールドカップシリーズ江の島大会 2019 持続可能性計画

ワールドセーリング ヘンペルワールドカップシリーズ江の島事務局の要請に応じ、
マーク・スミスにより作成された計画書である。
2019年6月25日ワールドセーリングにより承認済

251-0036 藤沢市江の島 1-12-2 江の島ヨットハーバー TEL +81-466-53-9979

はじめに

ヘンペルワールドカップシリーズ江の島大会持続可能性計画書をご覧頂き有難うございます。セーリングイベント管理のあらゆる段階で、私達はワールドセーリングの“サステナビリティアジェンダ 2030”の進取的精神を率先してサポートしています。サステナビリティアジェンダ 2030にはスポーツがどのように持続可能な開発目標（SDGs）に貢献するかという内容が述べられています。

海やその周辺と直接関わりのある関係者が何百人も集まる大会の主催者として、持続可能なスチュワードシップの必要性は最優先事項です。さらに、主催者は大会内で持続可能性を優先事項として取り組むことによって生じる、社会的、環境的、経済的影響の前向きな機会を確信しています。そして、持続可能なセーリング大会に活力に溢れたロールモデルを提供することにより、セーリングのポジティブなイメージを最大限に高め、将来のセーリング大会やイベントに対する一般の方からのより高いレベルのサポートが受けられると考えています。

このような堅牢な持続可能性計画は、セーリング大会にとって比較的新しいものであることと認識されています。主催者陣は、皆互いに学び合っている最中です。ヘンペルワールドカップシリーズ江の島大会の主催者陣は成功事例と今後の課題点の両方を文書化し、それらのレガシーレポートが今後行われる全てのセーリング大会の役に立つことを信じています。

持続可能性管理システムの設計

この大会持続可能性管理システムは、計画、実行、評価、および改善の基盤に基づいて構築されています。

計画には、大会と大会の利害関係者の範囲の決定、大会の管理原則の定義、ポリシーの確立と文書化、参加者の役割割り当てと伝達や直接制御可能、もしくは大会によって生じる可能性がある環境、社会、経済問題の課題認識と解決が含まれます。

実行には、役割を成し遂げる為の資源の提供、トレーニングと意識向上プログラム、関係者と利害関係者の為の通信ネットワークのセットアップと維持、文書システムの作成と維持、サプライチェーンの運用管理が含まれます。

評価には、進捗状況、計画に対するパフォーマンスの定期的なレビューが含まれます。

改善には、是正措置を必要とする分野の特定をするため、目標に対して行われている持続可能性パフォーマンスの監査が必要とされています。

ねらい

定義:

大会範囲には、準備、管理、および大会後に関連する全ての活動、作業またはその他を持続可能なものとしてサポートする計画が含まれます。

範囲:

管理範囲はイベント管理、飲食および飲料、廃棄物削減、会場管理、レース管理で分類されています。

規模:

会場は江の島ヨットハーバー全体で構成され、ボートパーク、コントロールテント、オフィス、リフレッシュポイント、ボート燃料ポイント、ボートランプ、ポンツーン、展望台、ゲストおよびスタッフ用駐車場が含まれます。

ヘンペルワールドカップシリーズ江の島 2019 持続可能性計画 目標/重要業績評価指標/方法/実施期間

以下の目標はワールドセーリングのサステナビリティアジェンダ 2030 に沿って決定されました。各目標は測定可能であり、成功の度合いを判断するために綿密に監視され、タイムリーに更新されます。ワールドカップシリーズ江の島事務局は、これらの目標を確実に努め、持続可能性計画全般は必要に応じて、適切に利害関係者に伝えられます。

目標 目次

大会管理

- 目標 1 専門の持続可能性チームの作成
- 目標 2 持続可能性チームの認定と承認
- 目標 3 ワールドセーリング サステナビリティアジェンダ 2030 + ISO 20121 の公約を公表
- 目標 4 地元コミュニティの招待
- 目標 5 公共的関与
- 目標 6 メディアへのプレスリリース
- 目標 7 レガッタ管理のペーパーレス化
- 目標 8 持続可能な紙の使用
- 目標 9 環境へのアウトリーチ活動
- 目標 10 持続可能性についての指導
- 目標 11 セーラーとスタッフのための持続可能性をテーマにした大会
- 目標 12 環境に悪影響を与えるパーティーの排除
- 目標 13 ジェンダー平等
- 目標 14 燃料使用量のカーボンオフセット

食品および飲料

- 目標 15 ペットボトルの使用をゼロに
- 目標 16 現地調達可能な食品またはオーガニック食品
- 目標 17 持続可能なシーフード
- 目標 18 ケータリングによる二酸化炭素排出量の削減
- 目標 19 使い捨て食器の使用を控える
- 目標 20 プラスチックストローの使用を控える

廃棄物削減

- 目標 21 堅牢な廃棄物管理
- 目標 22 再利用可能な防水ショルダーバッグ
- 目標 23 コンポスト化
- 目標 24 ステッカー
- 目標 25 機器のリサイクル - 遺贈寄付

会場管理

- 目標 26 主体的な標識
- 目標 27 代替輸送の促進
- 目標 28 持続可能なエネルギー資源
- 目標 29 流出汚染
- 目標 30 カーボンオフセット

レース管理

- 目標 31 無毒な洗浄
- 目標 32 水洗浄
- 目標 33 ホース使用により生じる無駄な水の排除
- 目標 34 有害な液体の流出を排除
- 目標 35 大規模な有害流出の予測
- 目標 36 オイル分散剤の排除
- 目標 37 複合ダストの排除
- 目標 38 メンテナンス廃棄物と汚染の排除
- 目標 39 ボトムペイントによる汚染の削減 (RIBs)
- 目標 40 ボートのアイドリング燃料の削減
- 目標 41 ボートプーリング
- 目標 42 野生生物と生息地の保護

注：ISO20121 では、達成可能な目標のみを持続可能性計画に含めることが求められます。赤文字で表記されている 16、17、18 以外の目標を達成させることが大きな信頼に繋がります。目標 16、17、18 は日本ではかなり難しい分類とみなされており、与えられた時間と予算内で、これら 3 つの目標のサプライヤー交渉は成功の可能性が低いとされています。ただし、たとえ一部だけであったとしてもこれら 3 つの目標を達成するためにあらゆる努力が引き続き行われます。

目標 1	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標& ターゲット	<p>持続可能なイベントの運営を支援するボランティア/スタッフを含める専門の持続可能性チームの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能性チームコアメンバーの名前を大会 Web サイトに公表
実施期間	2019 年 6 月中旬
方法	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能性チームコアメンバーの承認を求めるシバタ タカユキ、ナガイ マミ、マーク・スミス 大会 Web サイトで名前を公表
責任者	シバタ タカユキ、スエキ ソウゾウ

目標 2	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標& ターゲット	<p>全ての大会参加者に持続可能性チームの認定と承認</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能性チームのコアメンバーは“持続可能性チーム”と明確に示された ID カードを有する
実施期間	2019 年 7 月中旬
方法	<ul style="list-style-type: none"> “持続可能性チーム” ID カード作成のリクエスト 7 月中旬前に ID カードの印刷と確認を済ませる
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 3	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標& ターゲット	<p>環境、社会、経済の持続可能性の原則を採用し、ワールドセーリング サステナビリティアジェンダ 2030+ISO 20121 への公約を公表</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会および JSAF Web サイト上で公開
実施期間	2019 年 6 月中旬
方法	<ul style="list-style-type: none"> 公約の作成 公表の承認を要請 Web サイト上に SDG ロゴをアップロード Web サイト上に公約をアップロード Web サイトへのリンクを提供
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局、マーク・スミス 承認者 スエキ ソウゾウ

目標 4	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標& ターゲット	地元コミュニティを招待し、持続可能性の課題支援 <ul style="list-style-type: none"> 藤沢市ボランティアチームを招き、サステナビリティアジェンダのサポート
実施期間	A) 2019年7月第1週 B) 2019年7月下旬
方法	<ul style="list-style-type: none"> A) ボランティア募集の招待状を藤沢市に送付 B) 藤沢市“持続可能性”ボランティア参加者の活動内容の決定、書面でボランティア参加者へ配布
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局、マーク・スミス

目標 5	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標& ターゲット	公共的関与 <ul style="list-style-type: none"> 持続可能性計画と成功例を、大会および JSAF の Web サイトを介して公表
実施期間	2019年6月中旬に開始、イベント終了まで継続
方法	<ul style="list-style-type: none"> 公表の為の最初の記事を作成 Web サイト上に SDG ロゴをアップロード
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局、マーク・スミス

目標 6	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標& ターゲット	メディアへプレスリリース <ul style="list-style-type: none"> 持続可能性に関する記事を作成し公開
実施期間	2019年7月中旬に開始
方法	<ul style="list-style-type: none"> 大会での持続可能性への取り組みを公表し、記事を作成 大会前にプレスリリースの確認 記事公開前にワールドセーリングにコピーを提供
責任者	作成者:マーク・スミス 承認調整 リリース:ニシ トモコ

目標 7	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲット	レガッタ管理のペーパーレス化 <ul style="list-style-type: none"> • 主要人員/ボートレース管理用タブレット 大会結果の電子化 <ul style="list-style-type: none"> • 大会結果をインターネット上で放送
実施期間	2019年7月中旬使用準備の完了を確認
方法	<ul style="list-style-type: none"> • 全てのレース管理スタッフイベント管理用タブレットの発行 • インターネット上での大会結果の放送に取り組み、掲示板には再生紙100%もしくはFSC森林認証紙を使用
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 8	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲット	持続可能な紙の使用 <ul style="list-style-type: none"> • 持続可能な資源の紙を使用（但し、必要時のみに限る）
実施期間	大会時
方法	<ul style="list-style-type: none"> • 再生紙100%もしくはPEFC森林認証の使用し、大会に関する全ての印刷物は両面印刷を活用
責任者	ワールドセーリング、ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 9	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲット	環境へのアウトリーチ活動 <ul style="list-style-type: none"> • 地元の環境グループを大会へ招待、出席者の出欠確認 リサイクルテントの用意
実施期間	2019年6月末
方法	<ul style="list-style-type: none"> • JSAF本部作成リーフレット“Poseidon Live”の依頼と確認 • セーラーへのリーフレット受け渡し方法を決定 • 地元の環境グループの招待
責任者	マーク・スミス/リーフレットの確認 ナガイ マミ/出席者・場所の確認 ニシトモコ

目標 10	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	持続可能性教育 <ul style="list-style-type: none"> 地域の学校または自治会での持続可能性プレゼンテーションの計画
実施期間	2019年6月中旬
方法	<ul style="list-style-type: none"> 学生または自治会メンバーとの対話の機会を依頼 ワールドセーリングおよび大会を通しての持続可能性実現への取り組みを強調する内容のプレゼンテーション準備
責任者	マーク・スミス

目標 11	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	セーラーとスタッフのための持続可能性をテーマにしたイベント <ul style="list-style-type: none"> ハーバークリーンアップ
実施期間	大会結果発表前
方法	<ul style="list-style-type: none"> 2018年のハーバークリーンアップの成功を基に
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 12	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	環境に悪影響を与えるパーティーの排除 <ul style="list-style-type: none"> バルーンや飾りリボン等の禁止
実施期間	ワールドセーリングに従属する
方法	<ul style="list-style-type: none"> 全ての参加者に禁止事項を通知する
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 13	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	ジェンダー平等 <ul style="list-style-type: none"> 女性レース管理者数 14% (2018年) を 30% (2019年) まで増加 30%の女性ボランティアサポートを含める
実施期間	2019年7月中旬
方法	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダー平等の重要性についてレース管理チームに伝える レース管理アプリケーションとボランティアリストの監査
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 14	大会管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	燃料使用量カーボン・オフセット <ul style="list-style-type: none"> 大会で排出される燃料のカーボン・オフセット
実施期間	2019年7月中旬
方法	<ul style="list-style-type: none"> 大会で排出される支援艇の燃料推定値を計算 ワールドセーリング承認済オフセットポイントを提供して頂けるスポンサーの確保
責任者	概算:マーク・スミス コミットメント:ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 15	食品および飲料を通じた持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	ペットボトルの使用をゼロに <ul style="list-style-type: none"> 全ての参加者によるペットボトルの持ち込み禁止
実施機関	マシューの裁量 / 大会での給水所の設置
方法	<ul style="list-style-type: none"> 全ての参加者に飲み物は各自ドリンクボトルを持参するよう通達 ステンレススチールボトル 600本を提供して頂けるスポンサーの確保 給水所を複数設置 “水がきれいである安全な状態である”ということ全てのユーザーがわかるよう表示
責任者	ワールドセーリング:マシュー ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 16	食品および飲料を通じた持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	現地調達可能な食品またはオーガニック食品 <ul style="list-style-type: none"> 現地調達可能な地元産の昼食や飲食物の提供 10%のオーガニック食品の提供
実施期間	実行可能性を6月下旬に確認
方法	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーに連絡、実行可能性の確認
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 17	食品および飲料を通じた持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	持続可能なシーフード <ul style="list-style-type: none"> MSC 認証のシーフード
実施期間	実行可能性を 6 月下旬に確認
方法	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーに連絡、実行可能性の確認
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局/マーク・スミス

目標 18	食品および飲料を通じた持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	ケータリングによる二酸化炭素排出量を削減 <ul style="list-style-type: none"> ケータリングメニュー内にベジタリアンメニューの選択肢を提供する
実施期間	実行可能性を 6 月下旬に確認/マーク・スミス
方法	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーに連絡、実行可能性の確認
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 19	食品および飲料を通じた持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	使い捨て食器の使用を控える <ul style="list-style-type: none"> 従来のプラスチックをサトウキビまたは同様の食器類に完全に置き換える。
実施期間	6 月下旬に確認
方法	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーに連絡、実行可能性の確認 サトウキビを使用した食器を製造しているサプライヤーの確保 Limex 食器の実用可能性の確認 Limex、サトウキビを使用した食器に対しての予算を確認 全ての食事方法としてお箸を提供する
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局/マーク・スミス

目標 20	食品および飲料を通じた持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	プラスチックストローの使用を控える <ul style="list-style-type: none"> プラスチックストローの使用を禁止 ストローを提供しない
実施期間	マシューの裁量により参加者に知らせる/ レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーに連絡、実行可能性の確認 全ての現地サプライヤーに対して禁止を要する
責任者	ワールドセーリング マシュー /ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 21	廃棄物削減による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	堅牢な廃棄物管理 <ul style="list-style-type: none"> ゴミ箱の横にリサイクルボックスの設置 ゴミ箱設置所マップ
実施期間	マップ 6月下旬 /レガッタでのゴミ箱設置
方法	<ul style="list-style-type: none"> 全ての選手にゴミ箱設置所マップと情報の通達 全てのゴミ箱にゴミの分別の種類を明確にマークする PET - 可燃 - コンポスト (必然的に PET ゴミが出ることを想定)
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 22	廃棄物削減による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	再利用可能な防水ショルダーバッグ (2) <ul style="list-style-type: none"> 選手へ再利用可能な防水ショルダーバッグを支給 全てのレガッタ参加者に大会前・大会中の買い物にビニール袋を使用しないよう注意を促す
実施期間	レガッタ時 チームブリーフィング
方法	<ul style="list-style-type: none"> コース担当者に提供されるチームブリーフィングノートに含める 防水の再利用可能な防水バッグ 1350 個を全ての参加者に提供
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 23	廃棄物削減による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲット	コンポスト <ul style="list-style-type: none"> 10%の埋め立て地を堆肥に流用する
実施期間	実行可能性を6月下旬に確認
方法	<ul style="list-style-type: none"> 藤沢市に堆肥化可能な材料を定義し、堆肥化プログラムに含めるよう要求 大会で分別された堆肥ゴミが後に埋立地と混合されないことを明確にする
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 24	廃棄物削減による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲット	ゴミの削減 - ステッカー <ul style="list-style-type: none"> 正しく粘着されたボートステッカー
実施期間	レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> プロフェッショナルチームによるステッカーの修正 ステッカーの粘着を確認するための技術委員会の要請 全ての参加者に細心を払うよう伝え、剥離されたステッカーは収集するよう注意を促す
責任者	ダン/ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 25	廃棄物削減による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲット	機器のリサイクル - 遺贈寄付 <ul style="list-style-type: none"> 不用機器のリサイクル促進
実施期間	ワールドセーリング マシューによる裁量、レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 全ての選手にリサイクルテントの利用可能情報を提供、不要な機器の寄付依頼 不要になったウェットスーツを国内のウェットスーツリサイクル会社に輸送する
責任者	ワールドセーリング マシュー/ワールドカップシリーズ江の島大会事務局 /マーク・スミス

目標 26	会場管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	主体的な標識 <ul style="list-style-type: none"> 日付けの使用を避ける. PVC ではないリサイクル可能な素材
実施期間	5月下旬
方法	<ul style="list-style-type: none"> 看板発注会社との打ち合わせ-5月29日 リサイクル可能な材料が使用されていることを確認 デザインが再利用可能かを確認
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 27	会場管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	代替輸送の促進 <ul style="list-style-type: none"> 自転車の提供 自家用車の禁止 バス輸送
実施期間	ワールドセーリング マシューによる裁量、イベント時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 全ての参加者に対して自家用車で島のアクセスを禁止 参加者を輸送する為のバスの提供 自転車 70 台を短時間無料で使用可能 全ての参加者がこれらの条件を認識していることを確認
責任者	ワールドセーリング マシュー /ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 28	会場管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	持続可能なエネルギー資源 <ul style="list-style-type: none"> 一時的な発電よりグリッド電力の優先 大会での所要電力のマッピング
実施期間	ワールドセーリング マシューによる裁量、イベント時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 化石燃料発電機の使用を制限 発電機のニーズをより正確に判断
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 29	会場管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	流出汚染 <ul style="list-style-type: none"> 流出汚染の最小化
実施期間	2019年7月下旬、大会時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 海に流れ込む全ての排水管とグリッドを明確にマーク 排水溝にいかなる液体も入らないように全ての参加者とサプライヤーを指導 これらの排水溝から10メートル以内に給油所の配置
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 30	会場管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	カーボンオフセット <ul style="list-style-type: none"> オフセット不可避な二酸化炭素の排出量
実施期間	推定と確認 7月下旬 / レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 支援艇の使用により生ずる化石燃料の二酸化炭素排出量の計算 ステンレススチールボトル 600本を提供して頂けるスポンサーの確保 ワールドセーリング承認済オフセットポイントを提供して頂けるスポンサーの確保
責任者	シバタ タカユキ/ワールドカップセーリングシリーズ江の島大会事務局 / マーク・スミス

目標 31	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	無毒な洗浄 <ul style="list-style-type: none"> 大会時での環境に有害なクリーニングの禁止
実施期間	ワールドセーリング マシユーによる裁量/ 店舗確認:7月下旬/レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 全ての参加者に有害なクリーニング製品の使用禁止ポリシーを通達 現地の店舗と交渉し環境に優しいクリーニング製品の提供 ワールドセーリングによる“We need you to” ポスターの持ち込み
責任者	ワールドセーリング / ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 32	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	水洗浄 <ul style="list-style-type: none"> 全ての参加者に水洗浄の要求、注意を促す
実施期間	ワールドセーリング マシューによる裁量/レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 全ての参加者に水洗浄のリクエストを通知する
責任者	ワールドセーリング マシュー / ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 33	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	ホース使用により生じる無駄な水の排除 <ul style="list-style-type: none"> 適切なホースの提供 ボランティアによる監視
実施期間	既に設置済/ レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 会場の全てのホースに通水・止水可能なジョイントの取り付け 全てのボランティアスタッフに常にホースを気にかけるよう指導する
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 34	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	生態系に有害な影響を及ぼす液体の流出を排除 (1)
実施期間	6月下旬 / レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 全ての参加ボートが供給されていることを確認し生分解性天然物で製造された吸収マットの使用を明確にする 靴下とパッドの正しい廃棄の仕方についてボートドライバーに指導 サプライヤーに正しい廃棄システムが設置されているかを確認
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局 / マーク・スミス

目標 35	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	大規模な有害流出時の予測 <ul style="list-style-type: none"> 緊急有害流出発生を想定した対策作成、配布、確認 安全な給油ポイント
実施期間	7月下旬 /レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 緊急有害流出発生を想定した対策作成、または既存のものを採用する 近くの海洋団体へ緊急有害流出時の対策プランを伝え、対応方法を確認 これらが実施されていることをレース主催者（ワールドセーリング）に示す 神奈川県による新しい安全な燃料補給ポイントの提供
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 36	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	オイル分散剤の排除 <ul style="list-style-type: none"> 分散剤の禁止
実施期間	ワールドセーリング マシュエによる裁量 /6月下旬 /レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 江の島ヨットハーバーのスタッフと参加者全てに明確なオイル分散剤の排除ポリシー 燃料ポイント近くに水中吸収マット
責任者	ワールドセーリング マシュエ / ワールドカップシリーズ江の島事務局

目標 37	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価指標&ターゲット	複合ダストの排除 <ul style="list-style-type: none"> 参加者は自身が出したゴミに対して責任を持つ サンディングエリアの指定
実施期間	レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 参加者全員にダストポリシーの通達 ボランティアに常に気にかけるよう指導 会場にてゴミ収集ツールの提供
責任者	ワールドセーリング マシュエ / ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 38	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	メンテナンス廃棄物と汚染の排除 <ul style="list-style-type: none"> 保全作業のコントロール
実施期間	ワールドセーリング マシューによる裁量/ 6月下旬 /レガッタ時
方法	<ul style="list-style-type: none"> 主要なメンテナンスを廃棄物ゼロ、汚染ゼロの方針、および有害廃棄物を管理する手順を完全に認識している、承認された知識豊富な請負業者に限定する 指定された修理エリアを使用する
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 39	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	ボトムペイントによる汚染の削減 <ul style="list-style-type: none"> ハードシェルボートの使用を最小限に抑える 管理ボートサポートリストの作成
実施期間	実行可能性を6月下旬に確認
方法	サポートボートとしてのRIBsの使用を75%+に努める
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 40	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	ボートのアイドリング燃料の削減 <ul style="list-style-type: none"> 全てのサポートボートは停船中にエンジンをオフにする
実施期間	レガッタ時
方法	全てのボートドライバーに停船中はエンジンをオフにするよう通達
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 41	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標&ターゲ ット	ボートプーリングの機会確認 <ul style="list-style-type: none"> ワークロードの共有 個々のボートによる複数のタスク
実施期間	レガッタ時
方法	全てのボートの使用報告
責任者	ワールドカップシリーズ江の島大会事務局

目標 42	レース管理による持続可能性の実現
重要業績評価 指標& ターゲ ット	野生生物と生息地の保護 • 情報の共有/報告
実施期間	レガッタ時
方法	• 全ての参加者に海洋生物との衝突時はレース管理まで報告す ることを要求
責任者	ワールドセーリング マシユー /ワールドカップシリーズ江の島大会事務局